

【テーマ】重度の障害児（者）への 生活支援を考えよう！

「生きているよろこび」を共有するために…

近年、障害が重度化し様々な医療的ケアを必要とする重度障害児（者）が増えています。今回は、重度障害児（者）の方々と「生きている喜び」を共有するために支援現場からのメッセージをお届けいたします。

日時：平成28年6月18日(土) 13:30～16:00

場所：広島都市学園大学 宇品キャンパス 2号館 4階 (402)

主催：教育医療・ケア研究会、広島都市学園大学

共催：広島都市学園大学FD委員会

プログラム

開会のご挨拶

主催者として

広島都市学園大学 理事長 古沢敏昭氏

世話人代表として

広島都市学園大学 副学長 石崎文子氏

第1部：講演 13:30～15:00

座長 広島都市学園大学 准教授 児嶋芳郎氏

広島都市学園大学 教授 山口扶弥氏

演題・講師

施設長(医師)の立場から

重症児・者 福祉医療施設 鈴が峰 施設長 佐倉伸夫氏

教育の現場から

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾秀行氏

作業療法の現場から

奏音(株) 代表取締役 森川敦子氏

療育支援の現場から

ときわ呉 療育部長 爲國志保子氏

第2部：討論 15:10～16:00

座長 広島都市学園大学 前教授 今村美幸氏

奏音(株) 代表取締役 森川敦子氏

提言：家族の立場から

施設利用者家族

閉会のご挨拶

当番世話人代表

広島都市学園大学 前教授 今村美幸氏

